

平成 30 年度 第 3 回安曇野市博物館協議会 会議概要

- 1 会議名.....平成 30 年度 第 3 回安曇野市博物館協議会.....
- 2 日 時.....平成 31 年 3 月 20 日.....午前 10 時から正午まで.....
- 3 会 場.....安曇野市役所本庁舎 3 階 会議室 307.....
- 4 委員出席者.....笹本会長、古根委員、小河委員、金井委員、高原委員、細野委員、須之部委員（百瀬副会長・宮澤委員・齋藤委員 欠席）.....
- 6 事務局出席者.....那須野文化課長、豊科郷土博物館兼穂高郷土資料館原館長、豊科近代美術館兼飯沼飛行士記念館荒深館長、田淵行男記念館二村館長、穂高陶芸会館小倉館長、高橋節郎記念美術館宮下館長、貞享義民記念館清水館長、臼井吉見文学館内川館長、財津博物館係長、逸見博物館係主査、倉石博物館係係員、松田博物館係係員、三澤文化振興係長、諏訪文化振興係主任、堀文化振興係係員.....
- 7 公開・非公開の別.....公開.....
- 8 傍聴人.....1 人.....記者 2 人.....
- 9 会議概要作成年月日.....平成 31 年 3 月 20 日.....

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ

会 長 博物館の新たな文化の礎を作っていけるよう皆さんの知恵をいただきたい  
那須野文化課長 4 月 1 日から臼井吉見文学館が市の直営となる。また、高橋節郎記念美術が指定管理となる。本日は、来年度の事業計画について皆さんからご意見をいただきたい。

- 3 報告・協議 【進行：笹本会長（安曇野市博物館条例第 22 条の規定により）】  
（1）平成 31 年度事業計画について（資料 1）

各館館長・担当者より説明

■豊科郷土博物館

新博物館に向けて資料収集等行う。市民が参加しやすい博物館実現に向け取り組む。また、本館は今年 40 周年を迎える。

■豊科近代美術館

- ・子供たちが五感を通して学べる場を提供したい。
- ・特別展「千田泰広展」の展示作業には中学生が手伝いに来ている。春の常設展拡大企画では、奥村光正ら安曇野の作家の作品を展示する。
- ・昨年度よりも入館者が増加した。「全国高校総合文化祭」、「シンビズム 2」、「安曇野市中学高校美術部作品展」などの展覧会があったことが要因である。

■田淵行男記念館

- ・館周辺の環境整備に配慮していきたい。
- ・今年には田淵行男没後 30 年にあたる。
- ・田淵行男没後 30 年特別企画展「田淵行男の世界」では、NHK E テレ「日曜美術館」で取り上

げられた作品を展示する。

- ・田淵行男の出身地である鳥取県・日野町公民館等へレプリカ作品貸し出す予定。

#### ■飯沼飛行士記念館

- ・今年度から飯沼ご夫妻を臨時職員として採用しており、丁寧な対応と説明をしていただいている。年間入館者 1,000 人達成の目標も現実的な線となりつつある。
- ・今年度の開館 30 周年を迎えた。来年度、記念の講演会を行う予定である。
- ・中央図書館で共同企画巡回展として市内 5 館を巡回する展示を行う予定がある。その中で飯沼飛行士を取り上げたいという話をいただいた。現在、資料の選定等を行っている。

#### ■穂高陶芸会館

- ・常に 1 名の作陶講師がいる。作陶体験が人気である。作陶体験の方を展示室へ誘っていききたい。
- ・常設展は内容が塩尻の洗馬焼なので、安曇野市とのゆかりがなく、入館者増が難しい。
- ・親子陶芸教室を計画している。毎回 20 名程度の参加があり好評である。
- ・豊科近代美術館とのコラボレーション企画を計画している。自分で作った器を豊科近代美術館の喫茶室へ持ち込みコーヒー・ケーキセットをいただくという内容。前回、好評であった。

#### ■高橋節郎記念美術館

- ・来年度から指定管理者制度導入となる。模索しつつ、安定した運営を目指す。
- ・夏の企画展「ーキュビズムと高橋節郎（仮）ー」では、高橋節郎作品におけるキュビズムに焦点を当てる。
- ・シンビズム 3 の中信会場となる予定。
- ・かんたん沈金講座では、子どもの参加費無料の日を設ける。

#### ■貞享義民記念館

- ・集う活動、知る活動、発信する活動の 3 つが館の運営方針である。
- ・書籍『貞享騒動をたずねて』は初版で 500 部刷ったが、残り 80 部となった。来年度、500 部増刷予定である。
- ・「講座・学習会等」の内、例年に無い活動として、人権・平和研修を増やした。
- ・子ども向けの取り組みとして、「加助探求シート」を作成する。
- ・館の庭を活かしていきたい。敷地に植えてある 33 本の桜に名前をつけたい。
- ・資料整理について、古文書が多いので文書館とも連携したい。

#### ■臼井吉見文学館（次年度より市直営となるため財津博物館係長より説明）

- ・事業指針は前年度と変わらず、臼井吉見の業績を伝えていく。
- ・インターホンを設置した。来館者がインターホンを押して文書館職員を呼ぶ対応になる。また、入館料が無料となる。
- ・子ども向けの取り組みとして、写真資料をスキャンしてコンパクト展示のメニューに加え市内の小中学校等に案内する予定。
- ・文書館と予算は一体化する。
- ・展示内容は基本的にこれまでのものを踏襲する。
- ・年 2 回の講演会は引き続き行う。
- ・臼井吉見文学館友の会の支援も行っていく。

- ・文書館が得意とする、貴重資料のデジタル化を行っていく。

#### ■穂高郷土資料館

- ・唯一の考古資料の展示施設。館のPRを続けていきたい。
- ・常設展について、縄文土器をはじめ考古資料展示を充実させたい。また、鐘の鳴る丘等とも連携していきたい。

#### ■美術館博物館連携事業

- ・文化庁の補助金内定がまだ出ていないため、市の予算でできることのみ紹介する。
- ・実施計画としてミュージアムサポーターの活用、学校ミュージアムの開催などがある。ミュージアムサポーターはひと館で囲い込まず、各館でシェアするような形態を目指す。
- ・その他の活動は補助金内定後に具体的に計画する。

#### ■新市立博物館準備室

- ・準備室の設置を平成32年（2020年）の目標としているが、ふさわしい施設が見つからない。
- ・関係者と連絡会議を2か月に1度の頻度で行っている。

■会 長 今後のために委員の皆様から、理想論や批判だけではない具体的な提案をいただきたい。

#### 委 員

- ・穂高郷土資料館での土器の展示について、子どもは縄文土器への興味が強いのでぜひ続けていただきたい。
- ・臼井吉見文学館に関する問い合わせがあったときに、市直営になってからもリファレンスサービスをうまく行えるのか。

博物館係長 リファレンス対応は基本的に文書館職員が行うが、場合によっては臼井吉見文学館友の会にも相談していきたい。

那須野文化課長 補足として、人物顕彰のために松沢求策や清沢冽などの資料を文書館に集めていることを付け加えたい。

委 員 文書館において臼井吉見の人物研究も進めてほしい。

会 長 文書館と一体となることで、より広い視野から研究を進めていただけるのではないかな。

#### 委 員

- ① ミュージアムサポーターの全市的な活用について期待したい。
- ② 豊科近代美術館で展示予定の千田泰広は、世界的な活動を実現できている作家であり、今度の展示は重要なものとなる。
- ③ 高橋節郎記念美術館の企画展「一キュビズムと高橋節郎（仮）一」は注目すべき展覧会。キュビズムとは何なのかまで考えることのできる内容となるのではないかな。
- ④ 指定管理と市直営はどういう展望により分けているのか。また、博物館が市長部局の所管となっていく可能性はあるのか。
- ⑤ 例として、豊科郷土博物館の目標値の設定では、始めに館利用者数の目標値が設定されてしまっている。本来はまず展覧会があつて、展覧会ごとに何人の目標とするかを設定すべき。

那須野課長 ④高橋節郎記念美術館を指定管理とすることについて、指定管理者である安曇野文化財団は美術館運営のノウハウがある。なお、博物館については当面は教育委員会部局の所管。

委員 豊科近代美術館の「中高美術部展」について、美術部が廃部となった学校についてはどのような対応をしているのか。

豊科近代美術館荒深館長 美術部のない学校からも、授業作品を出品してもらっている。また、特別支援学校の作品も出している。梓川の学校からも出品希望があり出品してもらった。市内のみで収まるのではなく、広い範囲の参加者により展覧会を行っていくことは重要であると考える。

委員

- ・新市立博物館準備室の関係施設として、「天蚕センター」や「せせらぎ」を加えてはどうか。HPやパンフレットに掲載されるとき、市内施設のほぼ全てを一覧することが可能になるのでは。
- ・雨天の際に親子が行ける場所がないので、博物館にオープンスペースを設けてはどうか。

会長 オープンスペースは、博物館では飲食不可であるとか、泥で汚れるとか、作品保護上難しい部分がある。博物館のみでなく市内全域の施設の中で、オープンスペースを設けるという考えのほうがよい。

委員 新市立博物館の具体的な構想を教えてください。

那須野文化課長 新市立博物館の建設は、15～20年先へ先送りされている。しかし、建設のための財源が担保されていない。今後、確実に新市立博物館が建設するための選択肢として、既存施設の活用も考えたい。来年度、そのための審議を博物館協議会で行えればと考えている。

## (2) 安曇野市博物館条例・飯沼飛行士記念館条例・安曇野市穂高陶芸会館条例・貞享義民記念館条例の改正について(資料2)

文化振興係長 条文の修正予定もあるが、それについては平成31年度(2019年度)の第1回会議で提示する。消費増税に伴う料金改定を説明。

### 4 その他

■今年度で館長を退任する臼井吉見文学館内川館長、田淵行男記念館二村館長、高橋節郎記念美術館宮下館長から一言ずつあいさつをいただいた。

会長 退任される館長の皆様には博物館の発展にご協力いただき感謝申し上げます。

#### ・次回会議について

那須野文化課長 来年度の第1回目会議は5月開催を予定している。主に平成30年度事業報告について審議していただく予定。

### 5 閉 会

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。